

第2次 有田町総合計画 2018▶2027

ダイジェスト版

ひとがつながり ひとがつどう 世界に誇れるまち 有田

■総合計画とは……

まちづくりの最も根幹となる計画として、10年後の有田町の将来像と、それを実現するための今後の取組を示したものです、その実現に向け住民一人ひとりが主体的にまちづくりに関わる、住民と行政との協働による取組を推進します。また、行政における各分野の体系的な施策展開や事業実施の指針となります。

佐賀県有田町

〈目標人口〉

平成39（2027）年度の将来目標人口

1万9000人を目指します。

国立社会保障・人口問題研究所の推計を基にした試算によると、有田町の総人口は2010年の20,929人から2027年には18,000人、2060年には12,000人程度となると予想されています。

今後、出産や子育てへの支援により、合計特殊出生率を現在の1.68から2.07へ段階的に改善するとともに、雇用の創出などにより転出超過を現在の半分程度にすることで、人口減少を抑制します。

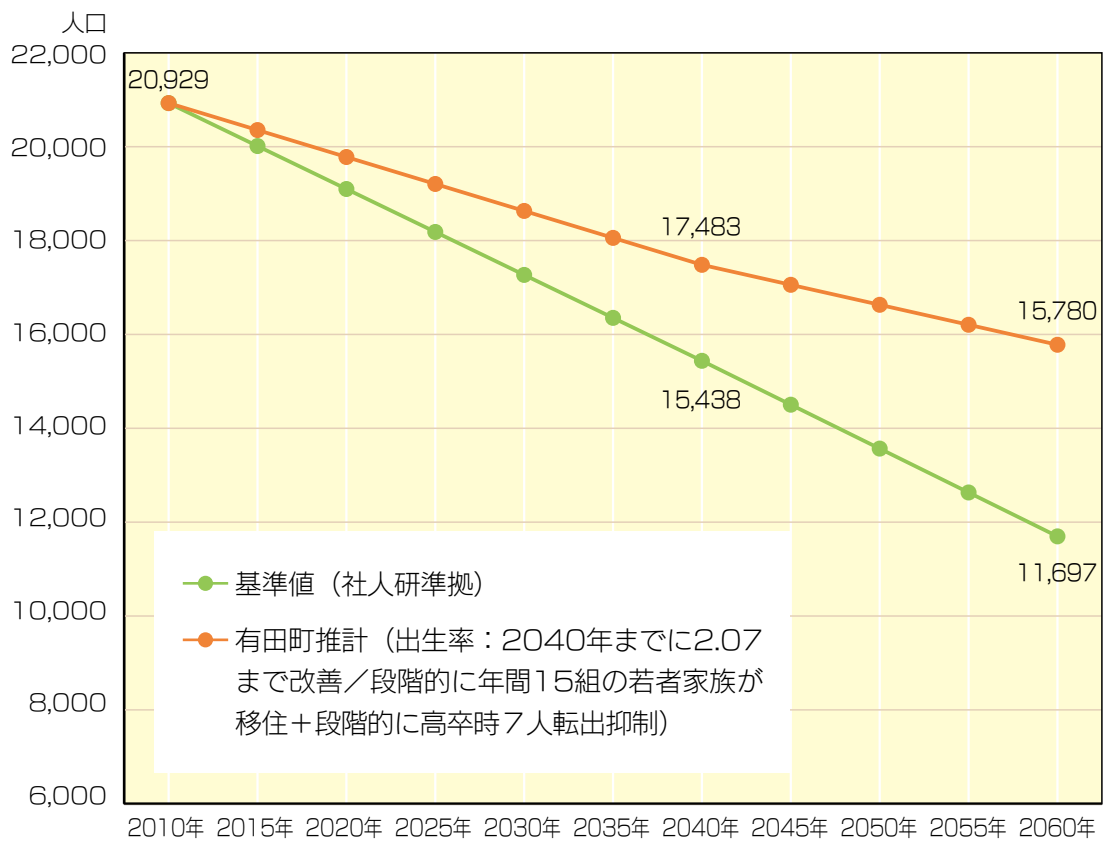


図 社人研推計及び有田町推計

〈有田町町民憲章〉

豊かな自然、悠久の歴史、類まれな景観に恵まれた有田町。わたしたちは、世界に誇れるまちの住民として、自覚と責任を持ち、時代を切り開く精神のもと、互いに手を取り合い、明日に向かってたくましく進むことを誓い、ここに憲章を定めます。

清流がもたらす みどり豊かな自然に親しみ

美しいまちをつくりましょう

ふれあいと思いを大切に

あたたかい心でもてなすまちにしましょう

歴史と伝統ある郷土を愛し 互いに学びあう

文化のかおるまちにしましょう

ふるさとが誇る ものづくりの志を高め

活力のあるまちをつくりましょう

共に助け合い 絆を深め 笑顔あふれるまちにしましょう



〈有田町の目指す将来像と5つの基本目標〉

有田町の基本理念である「有田町町民憲章」に基づき、取り巻く時代の潮流や課題を踏まえて、10年後に向けた町の将来像と基本目標を定めました。

将来像

ひとつつながり ひとつどう 世界に誇れるまち 有田

地域において元気な高齢者と若い世代の世代間交流が活発になる。域外からも多くの人が集まり、観光や産業が賑わう。そして、子どもや若い世代が住みやすく、誇りに思えるようなまちを目指します。

基本目標

① 思いやりでつながる心豊かなまち

地域を取り巻く様々な課題に「地域でできることは地域でやろう」と、住民が主体となって互いに協力し、自発的に取り組んでいくことを目指し、住民一人ひとりのコミュニティに対する関心を高めていきます。

② 世代を超え楽しく安心して暮らしやすいまち

すべての世代の住民が健康寿命を延ばし、生涯を通じて健康で心豊かに暮らすために、ライフステージに応じた健康づくりを推進します。また、適切かつ持続可能な医療や介護を受けることができる、安心して暮らしやすいまちづくりを目指します。

③ 安全安心で、自然と共存できるクリーンなまち

有田町は有田川や黒髪山系などの豊かな自然に恵まれ、その豊かな自然が地域の産業や文化を育んできました。すべての住民が地域の貴重な資源であるこの自然環境と共存して生活するクリーンなまちづくりが求められます。

④ 食と器で人が集まりつながるまち

有田町は、世界に通用する陶磁器文化やロマン溢れる歴史、美しい自然景観など、魅力的で多彩な観光資源を有しています。これらの資源とこれまで培ってきた伝統技術を活かすことにより、食（農畜産物）と器（有田焼）が融合した産業の活性化と交流人口の増加を目指します。

⑤ みんなで共に学び共に楽しみ紡ぎ合うまち

新しい時代に即応した活力あるまちづくりを進めるためには、国際化や情報化が進展する時代にふさわしい、地域の将来を担う青少年を育成するとともに、世代を超えて、地域の歴史や文化を良く学び、ふるさとに愛着や誇りを持つことが重要です。

思いやりでつながる心豊かなまち

施策 1 住民と行政の協働

行政需要が複雑化、高度化している中で、活力あるまちづくりを行っていくために、住民と行政が共通認識のもとで相互の特性を尊重した、協働によるまちづくりを推進していきます。

実施施策

- 協働のまちづくりの推進
- まちづくり活動の支援
- コミュニティ活動の推進

施策 2 情報公開と情報化の推進

町内外への行政情報の発信やタウンブ
ロモーションを強化することにより、情
報の共有を図るとともに、有田町民とし
ての誇りや愛着を高めていきます。

実施施策

- 情報提供の充実
- ICT利活用による利便性の向上
- 情報通信基盤の適性化

施策 3 男女共同参画の推進

性別や国籍、年齢などを問わず、それぞれが社会の対等な構成員として尊重され、すべての住民が真の豊かさを享受できる地域社会の構築を目指します。

実施施策

- 男女共同参画社会に向けた基盤づくり
- あらゆる分野での女性の活躍と男女共同参画社会の実現

施策 4 健全な行財政運営の確保

行政事務の情報化、組織や公共施設の効率化、職員の資質向上などを積極的に進めます。

実施施策

- 健全な財政運営
- 行政改革の推進
- 公共施設マネジメント（経営・管理）の推進
- 広域連携の推進

世代を超え楽しく安心して暮らしやすいまち

施策 1 生涯を通じた健康づくり施策の拡充

住民一人ひとりが地域での交流などを通して、世代を超えてともに支えあい、ふれあいながら、日常生活の中で積極的に健康の維持、増進に取り組みます。

実施施策

- 生活習慣病予防対策の充実
- 心の健康づくり対策の充実
- 健康づくり支援対策の充実

施策 2 福祉施策の拡充

高齢者や障がい者などが、思いやりのある共生社会の中で、安心して日常生活を送るために、福祉サービスの充実とともに、人材活用や社会参加を推進します。

実施施策

- 共に生きる社会づくり
- 地域福祉の充実
- 高齢者福祉の充実
- 障がい者福祉の充実

施策 3 医療体制の充実

高度医療の充実に努めると同時に、かかりつけ医による在宅医療体制の整備を促進し、地域と福祉サービスが連携した地域包括ケアシステムを構築します。

実施施策

- 伊万里有田共立病院における医療機能の充実
- 災害医療体制の充実
- 地域医療機関との機能分担と連携
- 医療情報の発信
- 福祉・介護との連携

施策 4 少子化対策と子育て支援の充実

明るい明日を担う子どもたちがいきいきと健やかに育つために、学校、企業、行政、そして地域のすべての人が子育て支援に関わることで、安心して子育てができるまちづくりを目指します。

実施施策

- 若い世代が結婚できる環境づくり
- 安心して妊娠・出産ができる環境づくりと子どもの健康づくり
- 地域で支える子育て支援の充実
- 仕事と子育ての両立支援
- 安心・安全な環境の整備
- 生活基盤の支援

生活環境基盤

安全安心で、自然と共存できるクリーンなまち

施策 1 生活環境の充実と整備

将来にわたって快適に生活環境を維持していく資源循環型社会を構築します。自然環境や生活弱者に配慮し、地域の均衡ある発展を考慮した計画的な生活基盤の整備と維持管理に取り組みます。

実施施策

- 循環型社会の構築
- 安全で安心な水道水の供給
- 生活排水などの処理
- 公園・緑地の維持
- 住宅整備と定住化の推進

施策 2 道路交通体系の整備

安全で暮らしやすい生活基盤の確立と産業・経済効果を考慮した道路網と公共交通体系の整備、長寿命化を推進します。

実施施策

- 効率的・計画的な道路網の整備
- 住民と行政の協働による道路維持管理
- 計画的な道路・橋梁の保全整備
- 総合的な公共交通体系の整備

施策 3 消防・防災・防犯体制の充実

住民が安全かつ安心して暮らしていくために、消防・救急・防災体制をさらに整備します。総合的な防災体制の構築と消防団をはじめとした地域の防災力の充実、強化を推進します。

実施施策

- 防災体制の充実
- 消防・救急体制の確立
- 防犯体制の充実
- 交通安全対策の充実



食と器で人が集まりつながるまち

施策 1

商工業の振興

400年の伝統技術によって培われてきた陶磁器産業をはじめとした地域産業の技術革新や付加価値の向上、後継者の育成、事業者間の連携強化による産業の活性化を目指します。

実施施策

- 地域産業の振興
- 新産業の創出
- 国際交流を通じた地域振興

施策 2

農林業の振興

新たな時代に対応できる持続可能な農業の実現と農村の活性化を図ります。農林業の多面的な機能の保全と活用に向けて、生産者、関係機関・団体、行政が一体となり、農林業の振興施策を推進します。

実施施策

- 競争力のある農産物づくりと林業の振興
- 担い手の確保・育成
- 農業の魅力アップ

施策 3

観光の振興

通年観光の実現を目指し、地域資源をさらに磨き上げるとともに、おもてなしの心を醸成します。また、様々な媒体により、積極的に町外へ情報を発信することで、交流人口の拡大を図ります。

実施施策

- 観光資源を活かした魅力づくり
- おもてなしを実践する基盤整備
- 効果的な情報発信



みんなで共に学び共に楽しみ紡ぎ合うまち

施策 1 未来を担う子どもたちの教育の充実

地域が一体となって、次代を担う子どもたちの個性や能力をのばします。社会の変化の中で主体的に生き、自立していく力を培っていくための教育環境づくりを推進します。

実施施策

- 教育内容の充実
- 学びの連続性の重視
- 心の教育と命の教育の推進
- 特別支援教育の充実
- 教育環境の整備
- 家庭との連携
- 地域における学習の場の創出
- 不登校児童生徒対策

施策 2 輝いた人生を送る文化・スポーツの推進

地域の歴史や伝承芸能、地域文化、芸術、スポーツに接する機会や地域交流の場を増やし、文化のまちにふさわしい感性を育むとともに、地域住民が互いに助け合う心を大切にします。

実施施策

- 生涯学習・生涯スポーツの推進体制の充実
- 特色ある多様な学習プログラムの策定
- 関係機関・関係施設との連携
- 施設整備の充実・有効活用
- 文化のまちづくりのための方策

施策 3 文化財や伝統的建造物群の保護と活用

古窯跡や有田内山の伝統的建造物群をはじめとした多くの文化財を後世に残し伝え、陶磁器文化や農村文化など地域の個性的な文化の保全などを促進します。

実施施策

- 文化遺産の調査と研究
- 文化財の保護・活用



〈ありたのあしたアナタカラ ～住民委員会2018～〉

住民の皆さんと一緒に総合計画を作り上げていくために、およそ100人の委員からなる「ありたのあしたアナタカラ～住民委員会2018」を開催しました。この住民委員会では、新たな試みとして無作為抽出などで委員を選出し、これまでこういった集まりに参加したことがない方にも参加していただきました。全4回にわたり「ありたの将来像」について、気軽に楽しく自由に語り合うまちづくりの場となりました。

【STEP1】
いまの、有田を再発見
平成28年11月16日(水)



【STEP2】 有田の未来を語る
平成28年12月14日(水)



【STEP3】 MAKE! ありた
平成29年2月5日(日)



【STEP4】 未来の有田にできること
平成29年3月1日(水)

2027年◎◎なまち、有田

ありたのあしたアナタカラ ～住民委員会2018～〔STEP2〕有田の未来を語るでのワークショップにおいて、16の有田町の未来（◎◎なまち）がそうぞうされました。

世代を超えたつながりがある

- 4世代のまち - 同居家族のすすめ
- 子供がお年寄りから知恵をもらえる地域が支えるまち

暮らす人がイキイキと支えあう

- なんでもありたな、新たなまち
- 活気のある元気なまち
- 歩く人が途絶えないまち
- ワクワクするまち
- 町民みんながガイドなまち

安心して住む環境が整っている

- 住みたい街ランキングベスト10入りする魅力があるまち
- 若者が仕事があってもなくても、生活できるまち
- 人口の伸び率が日本一のまち
- 税収が安定するまち
- 空き屋敷0なまち

産業が生み出されている

- ブランドなまち
- スーパーなまち
- 佐賀県のハブになるまち
- 田舎なまち

これらの16の未来予測を踏まえ、有田町の将来像を

ひとつつながり ひとつどう
世界に誇れるまち 有田

と決めました。



有 田 町

〔編集・発行〕

有田町まちづくり課

〒849-4192

佐賀県西松浦郡有田町立部乙2202番地

TEL 0955-46-2111 FAX 0955-46-2100

E-mail arita@town.lg.jp

URL <http://www.town.arita.lg.jp/>

〔印 刷〕 印刷ショップアリタ

第2次有田町総合計画は町ホームページで閲覧・
ダウンロードできます。